

旭ヶ丘キリストの教会  
主日礼拝順序  
2024年4月28日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙 禱		一 同
讃 美※	聖歌284「立ち上がれいざ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌548「罪に沈む汝が友に」	一 同
教会学校	紙芝居「空の星より多く」	牧 師
讃 美	聖歌423「罪思い出さず」	一 同
聖書朗読	使徒行伝10:9-15	
奨 励	使徒行伝の福音(第34回)	牧 師
主 題	「神が聖めた者」	
讃 美	聖歌477「罪とがを赦され」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌379「主よ、このところを」	一 同
祝 禱※		牧 師
来週の箇所	創世記 第20章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

4/28(日) 聖日礼拝  
/29(月) 昭和の日  
/30(火)  
5/1(水)  
/2(木) 10:00 聖研  
/3(金) 憲法記念日  
/4(土) みどりの日 13: 子供ランチ



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

【昆虫の変態】

～まるで奇跡のシンフォニーのように～  
(ゴードン・ウィルソン「昆虫の変態」)より

- ① チョウのサナギは外見から分かるように、非常に受動的な生き物です。何かを食べるわけでもなく、動き回るわけでもありません。むしろじっとその場にとどまり、絹のふさ糸で木につかまって身動きしません。しかしそれは決して怠け者ではないのです。内部では膨大な再構成が行われています。ともかく、6本のずんぐりした足が、長くほっそりとした脚に変身してしまうのです。葉っぱをむさぼり食う顎は花の蜜を吸うストローになり、単眼は複眼に、それになんと、これまでにまったくなかった4枚の羽根が生え出るので。
- ② この再構成は、ちょうど家屋の徹底的なリフォームと似ています。この静かなサナギ段階の間に、イモムシ時代の摂食系や筋肉・神経系統が、ちょうど家屋の解体のようにすっかりバラバラに取り壊され、それと同時に、成虫の対応組織が新しく作られます。古い神経組織の徹底的な再構成作業が進行し(神経細胞は壊されるのではなく、再構成されるので)その結果、全く異なった神経系統になるのです。これは家屋のリフォームで言えば、配線の変更し直しに相当します。
- ③ ただし、家のリフォームの場合、結局は取り壊しなのです。家屋解体後、全ての廃材は投棄され、新しい建物の材料が運び込まれます。しかしサナギの場合はそうではないのです。サナギは一切食べないので、全てのパーツは幼虫段階で集めた材料から作られなければならない。イモムシを構成していた液状パーツが成虫を構成する材料になるのです。
- ④ 何千年もの間、この驚くべき変身への我々の好奇の目を妨げてきたのはサナギの外骨格でした。現代ではMRIのおかげで、科学者たちは変態の神秘を開示し続けています。ソロモン王も、きっとこの神秘のショーを見たかったことでしょう。
- ⑤ 血液が羽根の動脈に押し出され、その結果、十分に羽根が広がります。全ての準備ができると、外骨格は柔軟性を保ちながら硬化し、然るべき位置に収まります。この変身した生物はその栄光の羽根を広げて空中に飛び立つのです。
- ⑥ 外面に目を奪われて、それを引き起こすのに必要な精妙さを見落としがちなのは人間の常です。私たちは母の胎の中で私たちを組み立ててくださった神を誉め称えますが、ほとんどの人は、それが実際にどれほど素晴らしい事なのかを見るために胎生学を熱心に勉強することはありません。なぜでしょう？それが骨折折なことだからです！それは努力を要することですが、そうしたことはいつも瞠目的で、神の御業をナノ・スケールで深く見ることとなります。それに加え、さらにもう一つ、神を讃え、他の人々に神の栄光を分かち合うことなのです。今度、美しいものに驚きを覚えた時は、私たちは立ち止まり、創造主がそのすべての被造物に惜しみなく心を注いで下さった見えざる細部にも感謝する者でありたいと思います。